

2025年5月19日

鼻咽喉ファイバースコープの消毒液交換の不備について
(最終のご報告)

先般、当院の耳鼻咽喉科外来におきまして、診察に使用する鼻咽喉ファイバースコープの消毒に使用している内視鏡洗浄消毒器エスパルプラス（以下、洗浄消毒器）にセットしていた内視鏡洗浄消毒液セクリン（以下、消毒液）の使用期限が切れていた件につきまして、最終のご報告をさせていただきます。

<事案発覚後の対応経過について>

今回の事案発覚後、当院では、早急に調査委員会を立ち上げ、事実関係を確認するとともに、患者様への影響の有無や発生原因を調査し、再発防止策を検討いたしました。

また、対象となる患者様に対しては個別にご連絡を差し上げ、当院での受診を希望された方にB型・C型肝炎の抗原・抗体検査を実施した結果、陽性者は確認されず、当院で把握している限り、患者様への有害事象は現時点まで発生しておりません。

<発生に至った原因について>

- ① 人的な要因) 機器の取り扱いや洗浄・消毒等に関する教育が不足しており、スタッフが洗浄消毒器の正しい操作方法や消毒液の特性・管理方法を十分に理解できていなかった。
- ② 環境に関する要因) 機器導入後の運用が現場任せとなっており、マニュアルが整備されていない状況であった。
- ③ ハード面の要因) 洗浄消毒器の管理者が明確でなく、定期的な点検が行われていなかった。
- ④ 管理上の要因) 機器全般の管理体制が整っておらず、関連部署が関与しきれていなかった。

<再発防止策について>

- ① 耳鼻咽喉科外来スタッフ及び応援スタッフに対して、当院内視鏡技師や機器メーカーによる技術指導を改めて行った。
- ② 医療機器管理マニュアルを作成し、洗浄消毒器や消毒液の取り扱いに関する注意事項や点検方法、緊急時の対応等について明記した。
- ③ 機器使用前後の日常点検及び半年ごとの定期点検を実施することを明確化した。
- ④ 機器全般の管理体制を整備した。併せて機器のバージョンアップ等の情報提供があった場合の対応手順も明確化した。

<専用電話の終了について>

2025年5月末日をもちまして、先般ご案内しておりました専用電話は終了とさせていただきます。

今後、お気づきの点がございましたら、当院受診の際等にスタッフまでお申し出くださいますようお願い申し上げます。

当院では、患者様に安全な医療の提供に向けて、平素より鋭意取り組んでまいりましたが、患者様やご家族の皆様には大変ご心労をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

再びこのような事案を繰り返さないよう、患者様の安全に対する意識の向上と再発防止策の徹底に努め、患者様やご家族様の信頼回復に向け、職員一同、全力で取り組んでまいります。

松下記念病院
病院長 村田博昭